

## 著作総目録

### 編集

- 1996a 『番族慣習調査報告書』第一卷泰雅族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。（主編）
- 1998a 『番族慣習調査報告書』第三卷賽夏族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。（主編）
- 2000a 『番族慣習調査報告書』第二卷阿美族、卑南族、台湾総督府臨時台湾旧慣調査会原著、台北：中央研究院民族学研究所。（許木柱と共編）
- 2001a 「台湾研究者の論著リスト」、日本順益台湾原住民研究会編『台湾原住民研究概覽：日本からの視点』、東京：風響社。（共編）
- 2004a 『台湾原住民の現在』（山本春樹、黄智慧、パスヤ、下村作次郎編）、東京：草風館。（共編）
- 2008a 『寛容的人類学精神——劉斌雄教授記念論文集』（林美容、郭佩宜、黄智慧編）、pp.485-506、台北、中央研究院民族学研究所。（共編）

### 論文

- 1989a [「天理教の台湾における伝道と受容」](#)、『民族学研究』54(3)：292-309、東京：日本民族学会。（中国語版は1991）
- 1990a [「承統町人文化伝統——大阪大学」](#)、『日本文摘』53:110-112、台北：日本文摘雑誌社。
- 1991a [「天理教在台湾伝教的過程」](#)、『研究論叢』4:25-44。天理：天理教海外伝道部。（日本語版は1989a）
- 1992a [「宗教与儀式」](#)、莊英章他編『文化人類学』、pp. 65-89、台北：国立空中大学。
- 1992b [「二十世紀人類学的啓動者：馬凌諾斯基」](#)、『見証与詮釈：当代文化人類学思想家』、pp. 142-179、台北：正中書局。

- 1992c [「四月台湾 爆竹でわきかえる北港朝天宮の媽祖祭」](#)、『旅の世界史』7：12-15、東京：朝日新聞社。
- 1993a [「論天理教「人的觀念」：神與人之間」](#)、黃宥貴編『人觀、意義与社会』、pp. 363-387、台北：中央研究院民族学研究所。（日本語版は 1999b）
- 1994a [「鳥居龍藏の生涯」](#)、遠流台湾館編『跨越世紀的影像』、pp. 21-32、台北：順益台湾原住民博物館。
- 1995a [「東方海上的另類遭遇——与那国與台湾——」](#)、『宜蘭文献』17：1-11、宜蘭：宜蘭県史館。（日本語訳 1995b）
- 1995b 胎中千鶴訳[「台湾に最も近い日本、与那国島」](#)、笠原政治・植野弘子編『台湾』、pp. 287-295、東京：河出書房新社、1995年。（中国語版 1995a）
- 1996a 「泰雅族与其併音書写系統」、『番族慣習調査報告書』第一卷（泰雅族）、pp.9-19、台北：中央研究院民族学研究所。（黄荣泉共著）
- 1997a [「日本宗教教育現況評析」](#)、『教育集刊研究集刊』38：95-126、台北：国立師範大学教育学系。
- 1997b [「人群漂流移動史料中的民族接触与文化類縁關係：与那国島与台湾」](#)、『考古人類学刊』52：19-41、台北：国立台湾大学人類学系。（日本語版 1998b）
- 1997c [「沖繩独立論的爆発」](#)、『日本文摘』137：130-134、台北：日本文摘雜誌社。
- 1997d [「沖繩賽龍舟」](#)、『日本文摘』139：151-154、台北：日本文摘雜誌社。
- 1998a [「台湾先住民の環境観——ダム建設反対運動の分析から」](#)、山折哲雄編著『アジアの環境、文明、人間』、pp. 149-163、京都：法蔵館。
- 1998b 「漂流關係史料からみた八重山と台湾」、『台湾原住民族との交流会ニュースレター』16:2-7、東京：台湾原住民族との交流会。（中国語版は 1997b）

- 1999a 「日本対台湾原住民族宗教的研究取向」、徐正光・黄応貴主編『人類学在台湾：回顧与展望篇』、pp.143-195、台北：中央研究院民族学研究所。
- 1999b 天理インターカルチャー研究所編集部訳「[天理教における「人間観」：神と人間](#)」。 *Studies of Worldviews* 8:1-20。天理：天理インターカルチャー研究所。（中国語版 1993a）
- 1999c 安場淳、胎中千鶴訳「[危機にさらされた民族境界線——921 大震災後の台湾原住民——](#)」、『台湾原住民研究』4：248-255、東京：風響社。
- 2000a 「導読：理解日本人の宗教意識、感悟日本人の心」、山折哲雄著、鄭家瑜訳『近代日本人の宗教意識』、pp.1-10、台北：立緒文化事業有限公司。
- 2000b 「[南北源流交会処：沖縄与那国島人群起源神話伝説的比較研究](#)」、中央研究院『民族学研究所集刊』89：207-235、台北：中央研究院民族学研究所。
- 2001b "[The Yamatodamashi of the Takasago Volunteers of Taiwan: A Reading of the Postcolonial Situation](#)". Harumi Befu and Sylvie Guichard-Anguis eds. *Globalizing Japan: Ethnography of the Japanese Presence in Asia, Europe, and America*. pp. 222-250. London and New York: Routledge.
- 2001c 「[ブヌン・ビレッジ 桃源村\(台湾\)——台湾先住民が経営する現代の桃源郷](#)」、青木保編著『ホテルからアジアが見える』、pp.47-68、東京：海竜社。
- 2003a 「[ポストコロニアル都市の悲情：台北の日本語文芸活動について](#)」、橋爪紳也編『アジア都市文化学の可能性』、pp. 115-146、大阪：清文堂。
- 2003b "[The Transformation of Taiwanese Attitudes toward Japan in the Post-colonial Period](#)". Narangoa Li and Robert Cribb, eds. *Imperial Japan and National Identities in Asia, 1895-1945*. pp.296-314. London: Routledge-Curzon.

- 2003c [「日本対台湾原住民族宗教的研究取向」](#)、張珣、江燦騰共編『台湾本土宗教研究的新視野和新思維』、pp. 1-62、台北：南天書局。  
(1999a の増補版)
- 2003d [「蘭嶼とバタン諸島の民族的関連性——研究史をふりかえって——」](#)、『CAS ニュースレター』119:37-40、東京：慶応義塾大学地域研究センター。
- 2004b [「台湾原住民の歩み：2003 年を振り返る」](#)、山本春樹、黄智慧、パスヤ、下村作次郎共編『台湾原住民の現在』、pp.19-29、東京：草風館。
- 2004c [「戦後台湾的『日本文化論』書物中顕現的『対日観』」](#)、中央研究院『亜太研究論壇』26:94-118。(日本語版は 2006c)
- 2005a [「失散的文化鎖鍊：与那国島の『玉祭』与其周囲諸民族」](#)、福建師範大学中琉関係研究所編『第九屆中琉歴史関係国際学術会議論文集』、pp. 221-236、北京：海洋出版社。
- 2005b 「『絆』というもの」。『台湾原住民族との交流会十周年記念誌』、pp.25-27、東京：台湾原住民族との交流会。
- 2006a [「『戦後』台湾における慰霊と追悼の課題——日本との関連について——」](#)、国際宗教研究所編『現代宗教 2006 特集慰霊と追悼』、pp.51-75、東京：東京堂出版。
- 2006b [「植民地期における台湾原住民族宗教研究のながれ——『官』『学』両伝統の形成と軋轢——」](#)、木村自詠、『台湾原住民族研究』10：137-188、東京：風響社。(中国語版は 2003c)
- 2006c [「台湾における『日本文化論』に見られる対日観」](#)、『アジア・アフリカ言語文化研究』71:147-168、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(中国語版は 2004b)
- 2006d [「台湾を代言するポストコロニアル柳人——恩師李琢玉先生を偲ぶ——」](#)、今川乱魚編『酔牛 李琢玉川柳句集』、大阪：新葉館。
- 2007d [「迎向阿伊努民族的春天」](#)、『原教界』18：40-49。
- 2007e [「「Aynu=アイヌ」的漢字訳名是「愛努」還是「阿伊努」？——「Aynu 民族」漢字訳名原則性問題」](#)、『原教界』18：144-147。

- 2008a 「導論」林美容、郭佩宜、黃智慧共編『寬容的人類學精神：劉斌雄教授紀念論文集』、pp.1-17、台北、中央研究院民族學研究所。
- 2008c 「[東南亞東北亞的接合處：環「東台灣海」海域藏的學術生機](#)」林美容、郭佩宜、黃智慧共編『寬容的人類學精神——劉斌雄教授紀念論文集』、pp.485-506、台北、中央研究院民族學研究所。
- 2009 「[台灣における日本觀の交錯——族群と歴史の複雑性の視角から——](#)」、『日本民俗學』259:57-81、東京：日本民俗學會。
- 2010a 「[台灣的日本觀解析\(1987-\)：族群與歷史交錯下的複雜系統現象](#)」、『思想』14：53-97、台北、聯經出版公司。
- 2010b 「[ポストコロニアル台灣における重層構造——日本と中華](#)」、西川潤・蕭新煌編、『東アジア新時代の日本と台灣』p. p. 159-193、東京：明石書店。
- 2010c 〈[「東台灣海」文化圈の視点から見た与那国の島際關係史](#)〉、与那国町史編纂委員會事務局編《与那国町史第二卷民俗編》pp. 34-51，沖繩：与那国町役場。
- 2010d 〈[中華民國在台灣\(1945-1987\)——「殖民統治」與「遷佔者國家」說之探討](#)〉，台灣教授協會編，《中華民國流亡台灣60年暨戰後台灣國際處境》pp. 61-192，台北：前衛出版社。
- 2010e 〈[移動と漂流史料における民族の接触と文化類縁關係——与那国と台灣——](#)〉，稻村務訳，《地理歴史人類學論集》1：43-61，琉球大學法文學科。(1997b之日文譯版)
- 2010f 「舒緩當代的族群困境：十年來我所參與之公共事務省思」、『人類學視界』5：6-9、台北：台灣人類學民族學學會。
- 2011a “Ethno - cultural connections among the Islands around Yonaguni - jima: The network of the “East Taiwan Sea” , *OGASAWARA RESEARCH* (小笠原研究) 37 :7-24, Tokyo: Ogasawara Research Committee of Tokyo Metropolitan University.

- 2011b 「[八八災後原住民族文化守護：理念與實務之落差](#)」、国立台湾歴史博物館編、『行走西拉雅』、台南：国立台湾歴史博物館出版。  
(forthcoming)
- 2011c 「[解読高砂義勇隊的『大和魂』——兼論台湾後殖民情境的複雜性](#)」、『台湾原住民族研究学報』 pp. 139-174、花蓮県：東華大学原住民族学院台湾原住民族研究学会出版。
- 2011d 森田健嗣・石村明子訳「南北文化の会流地：与那国島における人類起源神話伝説の比較研究」、(日本順益台湾原住民研究会編、『台湾原住民研究』第15号、東京：風響社)。(forthcoming)
- 2012a 鈴木洋平・森田健嗣訳「[台湾における日本観の交錯——族群と歴史の複雑性の視角から](#)」、『地域発展のための日本研究——中国、東アジアにおける人文交流を中心に』、pp. 43-70、東京：法政大学国際日本学研究センター。
- 2012b 稲村務訳「[移動と漂流史料における民族の接触と文化の類縁関係——与那国島と台湾——](#)」『東アジアの間地方交流の過去と現在——済州と沖縄・奄美を中心にして』、pp. 365-392、東京：彩流社。

## 会議論文

- 1992d 「日本平成天皇即位儀式試析」pp.1-15、東方宗教研究会主催『東方宗教シンポジウム』第七回年度大会、台北、9月7-8日。
- 1994b 「沖縄与那国島起源神話初探」pp.1-14、中央研究院民族学研究所主催『神話与伝説』シンポジウム、台北、6月17日。
- 1995c 「日本と台湾の先住民における環境観の比較研究——ダム建設をめぐる抗争に関する文化的言説——」pp.1-28、国連大学主催『アジア諸国における環境観——持続可能な開発との関連において』国際シンポジウム、福岡アジアパシフィックセンター、9月24-25日。
- 1996c "Japanese Studies on the Religion of Taiwan Aborigines During the Colonial Period(1895-1945): The Formation of a Governmental-cum-Academic Research Tradition". Paper presented at the 4th Conference on Japanese Studies, National Singapore University, 30, March.

- 1996d "The Socio-Cultural Relationships Between Yonaguni and Taiwan: An Analysis of Historical Documents Concerning Population Driftings and Transferances". paper presented at the *Symposia of Culture as well as Biological Affinities Among the Indigenous Peoples in Taiwan and Southeast Asia*, Academia Sinica, 21-23, May.
- 1997e 「殖民地時代日本対台湾原住民族宗教的研究：官学並行的學術傳統的形成」、中央研究院民族学研究所主催『人類学在台湾的發展』国際シンポジウム、台北、3月24-26日。
- 1998d "The 'Yamatodamashi' of the Austronesians: Takasago- Giyutai of Taiwan During the Pacific War". Paper presented at *the 14th International Congress of the Anthropological and Ethnological Sciences*, College of William and Mary, Virginia, July 26-Aug 1.
- 1998e "Taiwanese Discourses on Democracy in the Early Postwar Period: An Analysis of the Legacy of Japanese Colonial Rule". 北海道大学文学部歴史文化論講座主催『現代アジア社会における民主主義と文化の問題』国際シンポジウム、札幌、11月14-15日。
- 1999d "The Transformation of Taiwanese Attitudes Toward Japan in the Postcolonial Period". Paper presented at *the International Workshop on Japan and the National Identity of its Asian Neighbors During and after the Imperial Era*, NIAS, The Copenhagen University, Copenhagen, June. 18-19.
- 2000d 「南方の観点から見た十五世紀前後の与那国島の領属問題」、中央研究院東北アジア地域研究プログラム主催『琉球のアイデンティティと帰属問題の論争』国際シンポジウム、台北、3月27-28日。
- 2000e 「探究台湾与沖縄之間的島際族群關係史」、前衛出版社主催・宜蘭県員山郷公所実行『台湾・沖縄歴史文化』シンポジウム、宜蘭、11月4-5日。
- 2002a 「東南亜与東北亜的接合処：環『東台湾海域』蘊蔵的學術生機」、中央研究院アジアパシフィック研究プログラム主催『区域研究与社会科学的対話：対亜太研究未来方向的啓示』国際シンポジウム、台北、4月30日-5月1日。

- 2002b 「蘭嶼与巴丹群島的文化類縁関係：二十世紀上半葉的探索」、台北市原住民事務委員会主催『南島民族海洋文化フォーラム』、台北、7月5-6日。
- 2002c 「高砂義勇隊的『大和魂』：後殖民情境下の解読」、中央研究院明清研究会主催『涓滴成流——日常経験与凝聚記憶』シンポジウム、台北、9月19-20日。
- 2002d 「台北：ポストコロニアル都市の悲情」、大阪市立大学第十回国際シンポジウム『アジア都市文化学の可能性』、大阪市立大学文学部主催、大阪、9月27-29日。
- 2002e 「失散的文化鎖鍊：与那国島の『玉祭』与其周囲諸民族」、福建師範大学中琉関係研究所主催『第九屆中琉歴史関係』国際シンポジウム、福建、11月6-8日。
- 2002f 「台湾腔の日本語：殖民後の詩歌寄情活動」、文化研究学会主催・文化研究学会2002年度大会『重返東亜：全球、区域、国家、公民』、台中、12月14-15日。
- 2003e 「蘭島嶼とバタン諸島の民族的関連性——研究史をふりかえって」、台湾 YAMI 文化研究会シンポジウム『YAMI 文化研究の一世紀』、台湾 YAMI 文化研究会主催、東京、3月15-16日。
- 2003f 「増田福太郎对台湾原住民律法的研究」、中央研究院民族学研究所、淡江大学歴史学科主催『増田福太郎与台湾研究』記念シンポジウム、台北、12月5日。
- 2004d 「台湾における日本研究／日本観について」、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催『在台湾発見日本』国際シンポジウム、東京、3月28-29日。
- 2004e 「戦後台湾の日本文化論：以書籍出版物為例的探討」、中央研究院アジアパシフィック地域研究センター主催『台湾的日本研究之回顧与展望』国際シンポジウム、台北、5月28日。
- 2005b 「『絆』というもの」。『台湾原住民族との交流会十周年記念誌』、pp.25-27、東京：台湾原住民族との交流会。



- 2005c 「戦後台湾における「日本文化論」の形成と脱植民地化」、台湾学会主催『台湾学会第七回学術大会』、天理、6月4日。
- 2006e [「『戦後』台湾における慰霊の課題——日本との関連について——」](#)、中央研究院アジアパシフィック地域研究センター主催『近現代日本社会的脱変』国際シンポジウム、台北、3月16-17日。
- 2006f 「烏来拆碑事件媒体報導中的『事实』、『史实』与其宗教性質」、台湾原住民教授学会主催『高砂義勇隊』学術シンポジウム、台北、5月26日。
- 2006g "An Analysis of the Accounts by the Takasago Volunteers during the Wartime". The International Workshop on *The people's Experiences During the Japanese Occupation 1942—1945 in Southeast Asia and East Asia: Comparatives Studies*, Hankuk University of Foreign Studies Center for Southeast Asian Studies, Seoul, June. 9-10.
- 2006h [「基調講演「東台湾海」文化圏における「島」際関係史」](#)、海洋博覧会記念公園管理財団主催「沖縄海人文化の系譜」学術シンポジウム、沖縄、沖縄コンベンションセンター、9月30日。
- 2007f 「「東台湾海」周辺島嶼民族間の文化的親近性」、早稲田大学台湾研究所主催「日台関係」国際共同研究ワークショップ、、沖縄、3月8-9日。
- 2007g 「基調講演 15世紀の与那国島見聞史料再考——南方の視点から——」、日本島嶼学会主催「日本島嶼学会2007年与那国島大会、与那国、9月15-16日。
- 2007h 「従両起台湾原住民族法庭訴訟事件談人類学知識行動与実践的可能性」、台湾人類学与民族学学会主催「人類学与民族学的応用与推广」シンポジウム、台北、10月26-27日。
- 2007i 「ポストコロニアル台湾の二層構造：日本と中華」、中央研究院人文社会科学中心亜太区域研究中心主催『台湾和日本関係的回顧与展望：過去・現在・未来』国際シンポジウム、10月29-30日、台北。

- 2008f 「台湾引揚者のポストコロニアル状況について」、東亜大学・東洋大学主催『東アジアの植民地主義 文化・技術・移動—日本認識をめぐって』、7月19-21日、韓国・釜山。
- 2008e 「環「東台湾海」地域文化史的重建」、中興大学文學院源「越国境線」整合計画『重探東亞海洋文明論』国際ワークショップ、6月、台湾。
- 2012a 「黒潮文化の再検討—海流による東アジア文明の移動と伝播」、presented at 『第7回沖繩国際学術会議プログラム』、2012年6月11日、ソウル：ソウル大学比較文化研究所。
- 2012b 「『多元文化』的溝通術：檢視莫拉克災後重建政策的死角」、presented at 『第五屆台日原住民族研究論壇—千岩助太郎與台灣原住民族傳統建築』、2012年8月25-28日、台北：國立政治大學原住民族研究中心。
- 2012c 「從漂流文獻重新建構『東台灣海』域族群文化圖像(15~19世紀)」、presented at 『臺灣人類學與民族學學會2012年會：區域研究@臺灣人類學』、2012年10月6-7日、台北：臺灣人類學與民族學學會。

## 研究報告

- 1995d 日本的宗教教育(李亦園・黃智慧共著)、教育部委託計畫「宗教教育之國際比較及政策研究」計畫報告書、9-123頁。
- 2002h 中央研究院「亞洲季風區高地與低地的社會與文化」テーマ計畫「環東台灣海黒潮流域族群之社會與文化」計畫期末報告。
- 2008d 「靖国神社信仰与台湾英靈」『日台交流歴史研究者交流事業活動報告書』11頁

## 翻譯

- 1986a 「非単系社会之研究——以台湾泰雅族与雅美族為例」、王崧興原著、黃宥貴編『台湾土著社会文化研究論文集』、pp.565-597、台北：聯經出版公司。
- 1994c 「鳥居龍蔵博士与台湾」、宋文薰原著、遠流出版社台灣館編『跨越世紀的影像』、pp.17-20、台北：順益台灣原住民博物館。

2001b 「我是何人耶？」、王崧興原著、徐正光主編『漢人与周边社会研究』、pp.333-334、台北：唐山出版社。

### 短文、エッセー

1993b 「日本 AINU 人的春天来得特別晚」、關懷國際原住民系列、9 月 27 日、台北：中国時報。

1994d 「長了翅膀的伝説：『莎韻之鐘』の文字書写」、台北：『歴史月刊』79：113-114。

1994e 和歌一首。孤蓬萬里編著『台湾万葉集』、pp.331、東京：集英社。

1997f 「対談会：文化の交差点、沖縄——新しい視座を求めて」、『アジアセンターニュース』7：1-4、東京：国際交流基金。

2000f [「芋仔餅 e 清香」](#)詩、台灣文月刊『時行』19:33。

2001e [「小泉参拝靖国神社事件」](#)、自由時報「自由廣場」、8 月 20 日、台北：自由時報。

2001f ["Culture at Root of Yasukuni Issue"](#)、THE DAILY YOMIURI. Sep. 11, p. 6. Tokyo: 東京：読売新聞社。

2001g [「台湾人『さまよえる 2 か月』」](#)、読売新聞 12 版「論点」、10 月 31 日、東京：読売新聞社。

2002g [川柳作品64 首](#)、台湾川柳会会報、No. 98-131、台北：台湾川柳会。

2005d [「官員迷惘・古蹟遭殃」](#)自由時報，10 月 26 日，自由廣場。

2006h [「戦後処理：如何看待高砂義勇隊慰霊碑？」](#)、自由時報「自由廣場」、2 月 19 日、台北：自由時報。

2006i [「誰来撫慰敗戦傷痕？」](#)、自由時報「自由廣場」、8 月 18 日、台北：自由時報。

2007i [「中華民國 不值得闢」](#)、自由時報「自由廣場」、2 月 17 日、台北：自由時報。

2007j [「没有 815 哪有 428」](#)、自由時報「自由廣場」、8 月 18 日、台北：自由時報。

- 2007k [「日本忘幫助台灣入聯」](#)、自由時報「自由廣場」、11月4日、台北：自由時報。
- 2007l “Japan has to repay its moral debt to Taiwan,” *TAIPEI TIMES*, Nov. 9, 2007, p. 8.
- 2008g [「海角七號小小錯誤以及情書隱喻之「植民主的後殖民情境」](#)、自由時報「自由廣場」10月12日、台北：自由時報。
- 2008h [「你中有我、我中有你」](#)、平野久美子著・潘扶雄譯『多桑的櫻花』推薦序、pp.5-6、台北：繆思出版。